



地球の中に

なぜ海外に出て
みたかったのか？

留学が『私』を
どう変えたか？

居場所を探しにいこう

10月29日（水）

時間：18:30～20:00

お茶の水女子大学 本館306号室
（事前申し込み不要）

講師：杉浦 未樹氏

（専門：経済学、近世都市流通史）

杉浦さんのお言葉：「就職間近で、これからの人生に対していろいろな不安や壁を感じていました。ばくぜんとあったのは、短期でも海外に自分の力で住んでみたいという想いでした。なぜ海外に出てみたかったのか、今なら理由が分かるように思います。進路を大学院に決め、数年後留学したことで、感じていた人生の不安や壁がどのように変わっていったかをお話しします。留学先であったオランダの魅力もご紹介できればと思います」——小さい頃から世界のあちこちに住みながら、ご自身の“居場所”を探し続けてこられた杉浦さんのお話は、皆さんの悩みに通じるところがあると思います。

なぜ、21世紀に女性の海外移動が増え始めているのでしょうか。後半では、女性の「グローバルな移動」を考えるお話もいただきます。

略歴：専門は、オランダを中心とする近世都市流通史。最近の関心は、18-20世紀の古着流通を手掛かりに、布・衣の世界的な循環を繋ぐ歴史を叙述することにある。東京大学経済学研究科PhD取得。アムステルダム大学客員研究員、東京国際大学を経て、2013年より法政大学経済学部教授。

